

大竹駅西口交流広場の活用方針策定ワークショップ

ニュースレター-VoL.1

大竹市では、JR大竹駅を大竹市の玄関口として便利で魅力的な駅前広場にするため、検討を進めています。このニュースレターでは、大竹市民を中心として構成された「大竹駅西口交流広場の活用方針策定ワークショップ」における検討の状況や結果についてお伝えします。

大竹駅周辺整備事業の概要

大竹市の玄関口であるJR大竹駅を橋上化し、東西地区を結ぶ自由通路で結び、東口及び西口広場を一体的に整備・バリアフリー化することで、駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、駅周辺の円滑な自動車アクセスと交通拠点・結節点としての機能強化を図ります。



▲大竹駅の整備イメージ（西口）



▲大竹駅の整備イメージ（東口）

ワークショップの概要

大竹駅西口広場の整備の課題の1つに「市民や訪問者が集えるような広場や空間がない」ことが挙げられています。

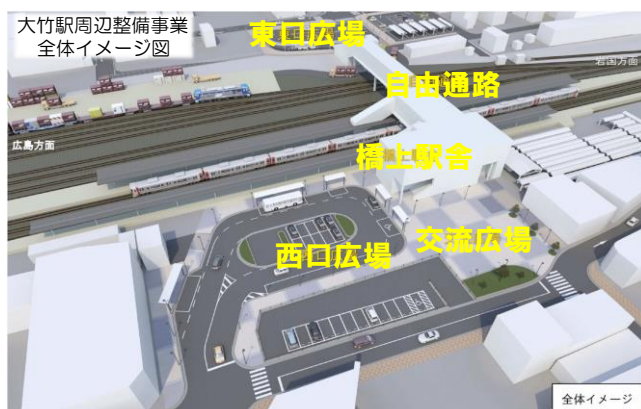
そのため、市民と行政が一緒になって交流広場の活用方針を決め、整備が進めていけるように、「こんな利用ができればいいな」や「こんなイベントができると賑わいが生まれそう」、「あんなふうを集えたらいいな」など交流広場の活用について話し合う**ワークショップを3回開催**します。

第1回 WS 【テーマ】こんな交流広場が欲しい！
【実施内容】交流広場の利活用に対する意見交換

第2回 WS 【テーマ】もっとこうしたい！
【実施内容】素案に対する意見交換

第3回 WS 【テーマ】計画案を決めよう！
【実施内容】計画案に対する意見交換、WS案の選定

▲ワークショップの流れ



▲大竹駅の全体整備イメージ

ワークショップの様子

第1回ワークショップ（令和元年10月27日）では、「こんな交流広場が欲しい！」をテーマにテーブルワークを行いました！！



ワークショップの説明



意見出し



グループの意見集約



グループ発表

▲ワークショップの様子です！！参加者の皆様にとくさんのご意見を頂きました。

主な意見

- ・みんなが利用できる休憩スペースとして活用したいので、椅子やベンチが欲しい！
- ・夜でも明るい駅したいので、行灯やキャンドルなどで照明の工夫をして欲しい！
- ・動植物を観察したいので、緑をふやして欲しい！
- ・地域コミュニティの発表場に活用したいので、ステージ・舞台が欲しい！
- ・イベント（マルシェ、バザー）に活用したいので、水道・電気の設備を整備して欲しい！
- ・大竹市のPRに活用したいので、“大竹市の顔”になるものが欲しい！
- ・防災情報を知りたいので、掲示板などで防災情報を発信して欲しい！
- ・みんなが安心して利用したいので、歩行者の安全を確保して欲しい！

次回開催の予定

■第2回WS：もっとこうしたい！

- ・日程：令和元年（2019年）12月15日(日) 14時～16時
- ・場所：総合市民会館3階 集会議室

